

# おひさまだより



平成29年2月号

社会福祉法人 尚徳福祉会

生麦保育園 園長 酒井和子



1月は行く、2月は逃げる、3月は去るといったもので、あっという間に今年も1ヶ月が過ぎました。時の流れの速さには驚かされますね。

速いことが好まれる世の中ですが、時が流れていく中で確実に心も身体も成長していく子どもたち。大人の速度に思いを合わせていくと子どもたちの何気ない言葉を見過ごしてしまいます。大人の高さから子どもを見つめるのではなく、子どもそのものを見つめる保育を心がけていきたいと思えます。

今年度も残りあと2ヶ月。一日一日を大切に充実した日々を送っていきたいと思えます。



## 2月の行事

3日(金) 節分

8日(水) お話し会

15日(水) にこにこまん「おみせやさんごっこ」

25日(土) ひよこ・あひる・りす・うさぎ・きりん組懇談会

27日(月) 乳児誕生日会・にこにこサロン

28日(火) 保護者会「人形劇」・幼児誕生日会・バイキング





指先が器用に使えるようになった子ども達は、はめ絵パズルとひも通し遊びがお気に入り。指先を見ながら真剣な表情で集中して、完成すると満足そうな笑顔です。



お手伝いが大好きな子どもたち。出席簿を事務所に持って来てくれたり、食事のワゴンの片付けを喜んでやってくれています。先生達の【ありがとう】の言葉に笑顔があふれています。



### おにはそと！ふくはうち！

「2月3日」は豆まき。「ツノはどうしようかな」「かみのけはどうしよう？」など子どもたちのアイデアたっぷりのとても素敵なお面ができていました。飾ったお面には子どもたちの個性があふれています。「鬼は外！福は内！」子どもたちの元気なかけ声が響き渡ることでしょ。豆まきで自分の中のちょっと苦手な鬼を退治し、たくさんの福を呼び入れるといいですね。

### 節分

「節分」とは、季節を分けるという意味で、本来は季節が始まる日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日の事を言い、その中で、春が始まる立春の前日の2月3日が現在の節分です。昔は、春から四季が始まるように、立春を1年の始まりとし、1日前が大みそかでした。季節の変わり目には鬼が出るとの言い伝えで、豆で悪い物とされていた鬼を追い払い、素晴らしい春を迎え幸せな一年にするため、立春の前日が節分として残ったと言われています。豆は「魔目・魔滅」のごろ合わせで、生の豆から芽がでない様に必ず炒った豆を使います。子どもたちには、「昔は節分が大みそかで、鬼がやってきた」とこと、「豆まきは悪い鬼を追い払うためにする」とこと、そして「これから春が始まり幸せな一年になるように願いをこめる」ことを年齢に合わせて伝えたいと思います。



### 遊び

子どもたちは遊ぶことが大好きです。遊びを通して言葉を覚え、考える力も発達し、遊ぶことを通して関わりを学んでいくのだと思います。一緒に遊んでいると高いところに登って飛び降りたり走りまわったり、ヒヤッとすることが多々ありますが、これも子どもにとって自分の身を守ることに繋がっています。体内時計が働き、決まった時間に起き、食事、決まった時間に寝る」このリズムの土台があってこそ子どもたちの遊びが充実していくのではないかと思います。子どもたちの遊びを充実したものにしていけるように、ご家庭でも子どもたちとの時間を大切に過ごしてください。



### 懇談会

先月28日に保育園生活最後のそう組懇談会が無事に終了しました。今月25日(土)はひよこ・あひる・りす・うさぎ・きりん組の懇談会を予定しています。今年度最後の懇談会になりますので、ぜひご参加ください。

